

令和7年1月1日～12月3日

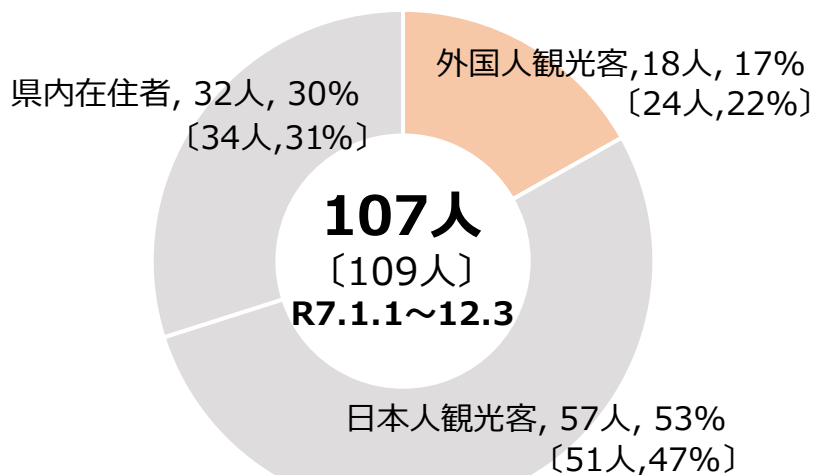
( ) 内は死者・行方不明者数

# 人身事故 107人(29人)

県内在住者 32人 ( 3人)  
 日本人観光客 57人 (20人)  
 外国人観光客 18人 ( 6人)

前年比 -2人 (+3)

外国人観光客による事故者数

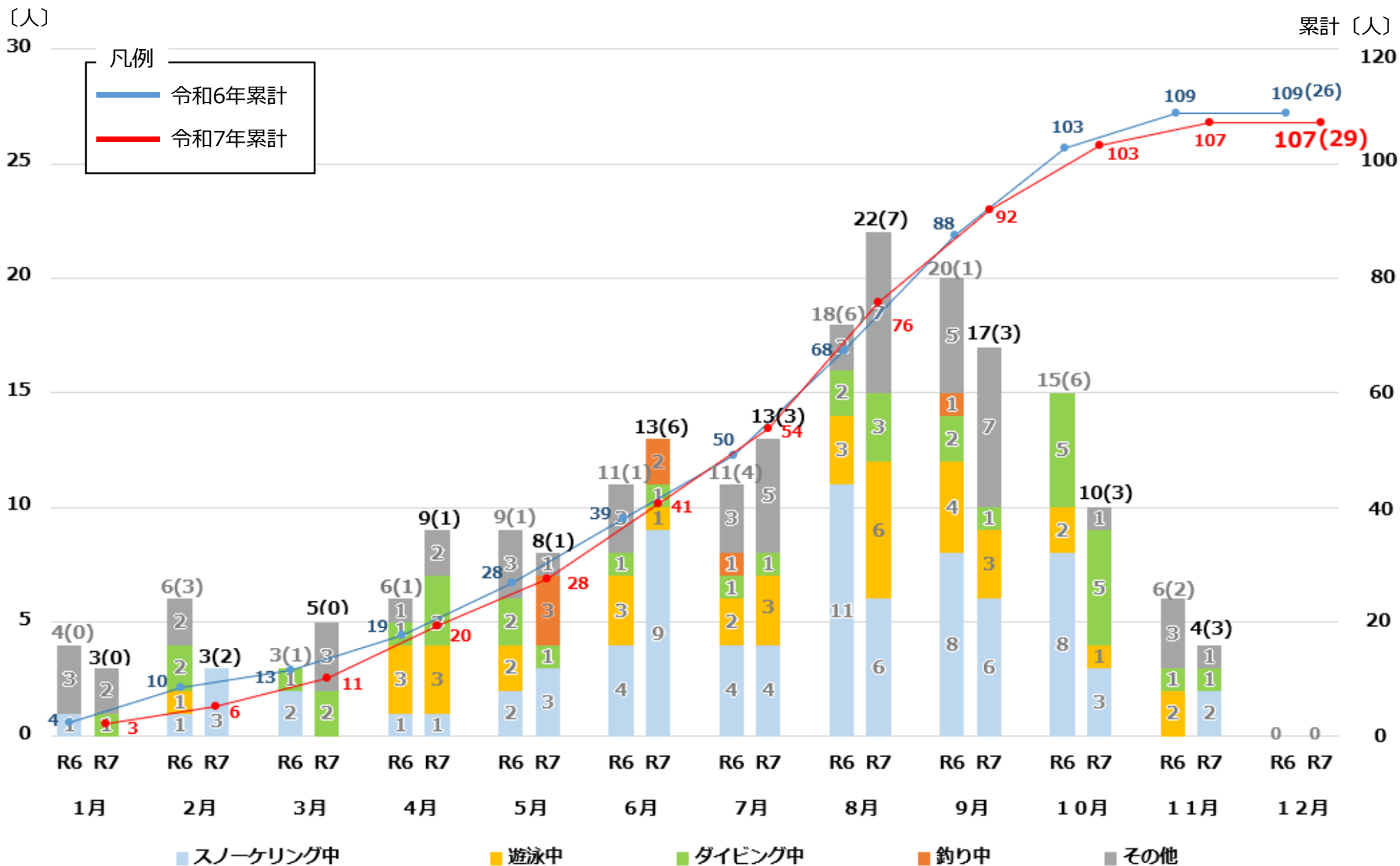


[ ] 内は令和6年同時期の事故者数

活動別	事故内容別			
	溺水	帰還不能	負傷	病気
スノーケリング中 37(21)	33 (20)	1	1	2 (1)
遊泳中 17 (3)	9 (3)	5	3	
ダイビング中 19 (4)	16 (4)			3
トーイング遊具中 9			9	
SUP中 9		9		
釣り中 5		5		
その他 11 (1)	1 (1)	1	8	1
合計 107(29)	59 (28)	21	21	6 (1)

# マリナーに伴う人身事故発生状況について(速報値)

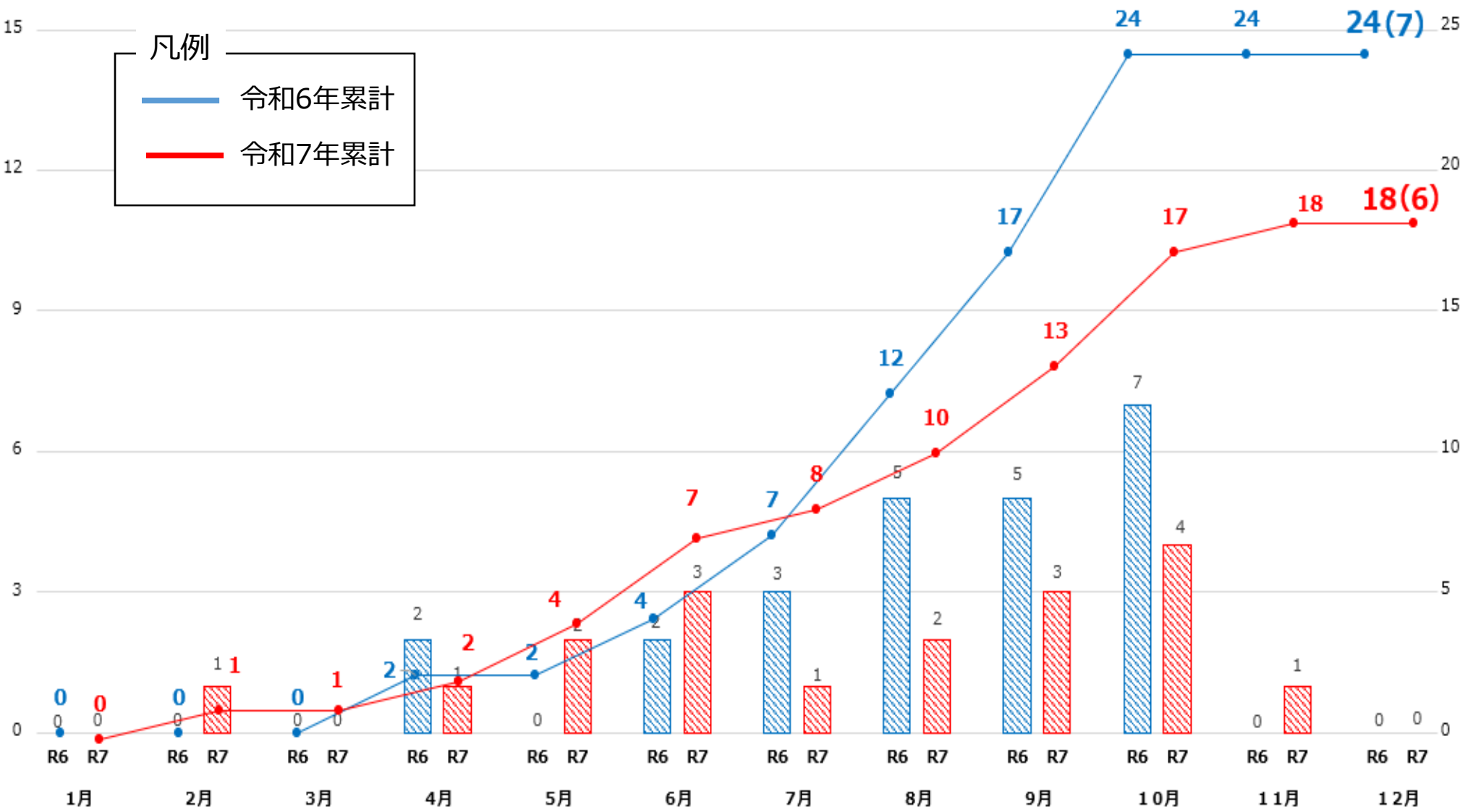
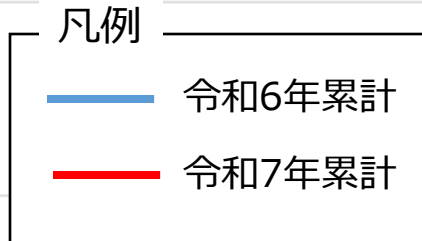
( ) 内は死者・行方不明者数



( ) 内は死者・行方不明者数

[人]

累計 [人]



# 夏の美ら海安全キャンペーン期間中における マリンレジャーに伴う人身事故発生状況

---

(速報値)

第十一管区海上保安本部  
交通安全対策課

## 夏の美ら海安全キャンペーン

実施期間：令和7年7月1日（火）～ 10月31日（金）4ヶ月間

内容：マリンレジャーに伴う人身事故が増加する時期に、事故多発マップ等を活用した海難防止活動や関係機関団体等と連携した安全対策など、効果的な活動を効率的に推進することにより事故の減少を図る。

重点事項：ライフジャケット着用の推進、外国人観光客への安全啓発の強化



夏の美ら海安全キャンペーン

～ 夏本番！安全対策を万全に！～

実施期間：2025年7月1日(火)～10月31日(金)

夏の沖縄はマリンレジャーが最も盛んになる時期！青い海、輝く太陽、白い砂浜、最高の環境を満喫するために、安全対策を万全にして思い出に残るひとときを過ごしましょう！

海で安全に遊ぶためのポイント

1. ライフジャケットの着用
2. 遊びに行く場所の危険性をチェック
3. 気象、海象の確認
4. ツアーガイドと一緒に行動

大人の方

1. 体調管理
2. 子供から目を離さない
3. お酒を飲んだら海に入らない

事故多発マップ

海で安全に遊ぶための情報 ウォーターセーフティガイド Water Safety Guide

海の事件・事故は118番！

JCG 第十一管区海上保安本部

那覇空港合同安全啓発活動



合同パトロール



離島フェリー船内アナウンス



一日名護海上保安署長任命式



報道関係者離岸流体験



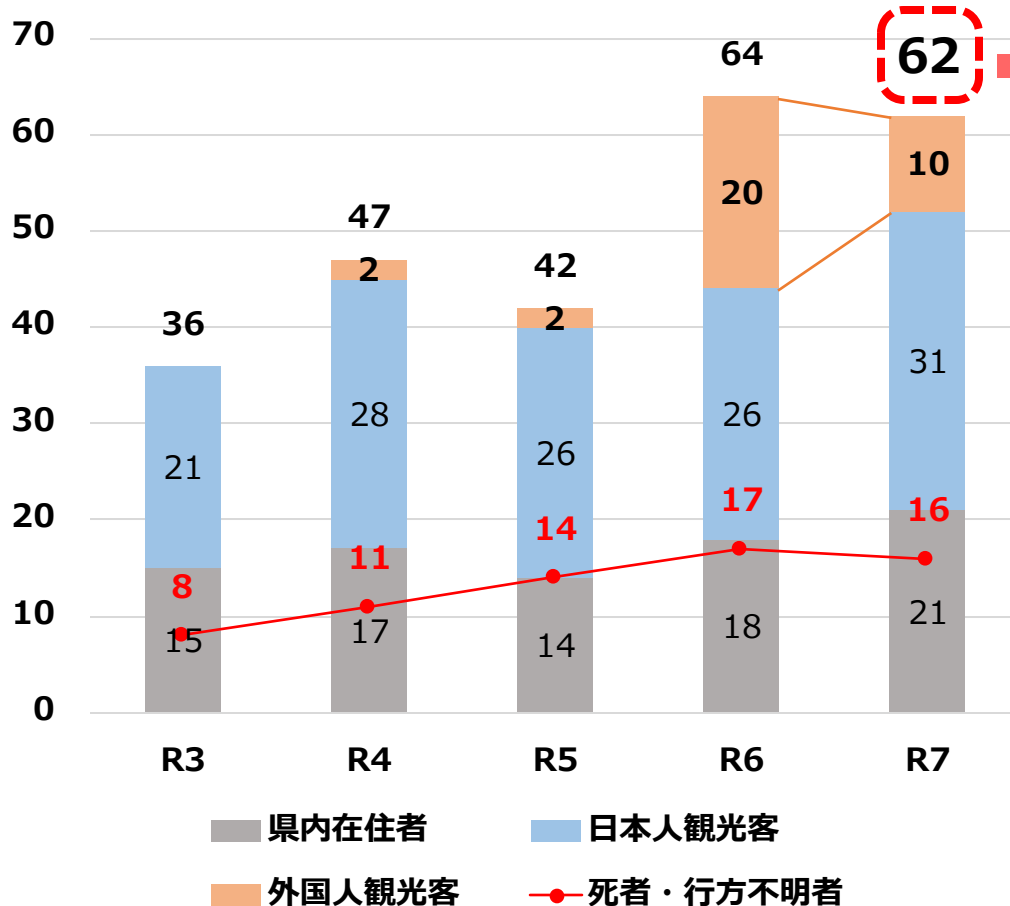
ラジオ出演



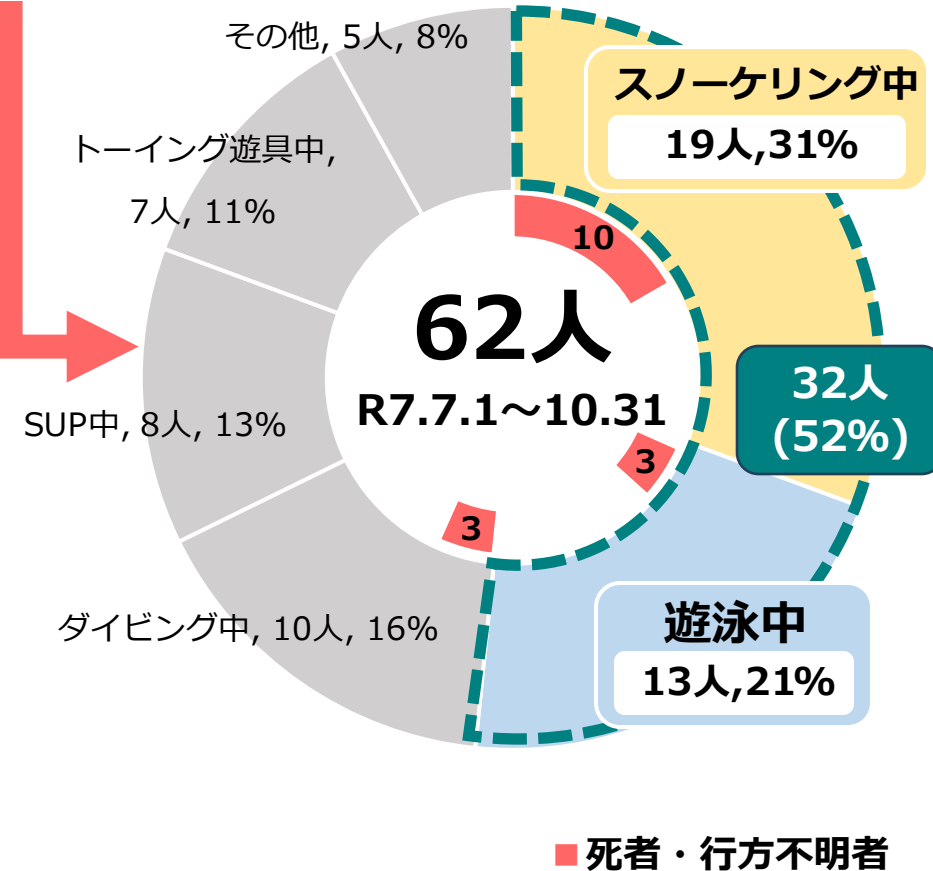
- ① **令和7年の事故者**は62人で昨年比**2人減少**し、**死者・行方不明者**は16人で昨年比**1人減少**した。  
**外国人観光客の事故者**は10人で昨年比**10人減少**した。
- ② 活動内容別でみると、**スノーケリング中・遊泳中**で全体の52%を占めた。

①【年別】マリレジャーに伴う人身事故発生状況（7/1～10/31）

単位：人

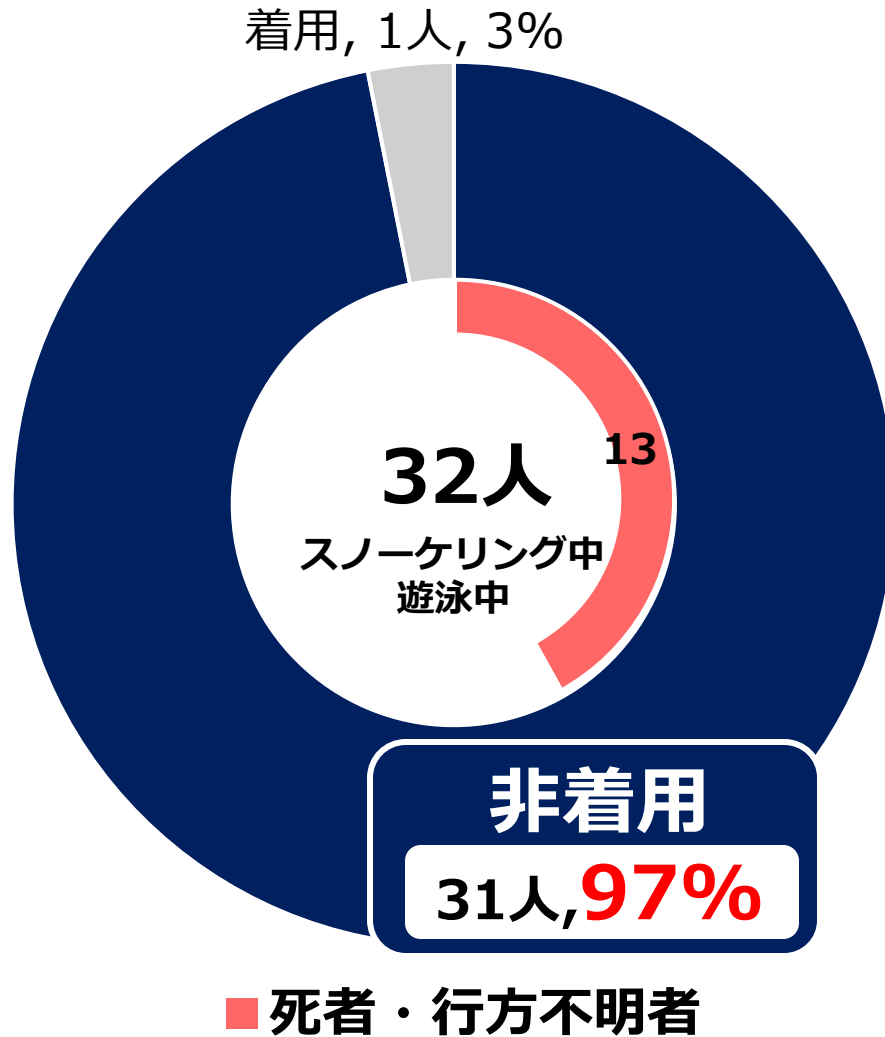


②【活動内容別】令和7年（7/1～10/31）



- ・スノーケリング中・遊泳中における事故者32人のうち、**97%**がライフジャケット**非着用**であった。
- ・スノーケリング中・遊泳中における**死者・行方不明者13人すべてがライフジャケット非着用**であった。

【ライフジャケット】令和7年（7/1～10/31）



### 事件事例

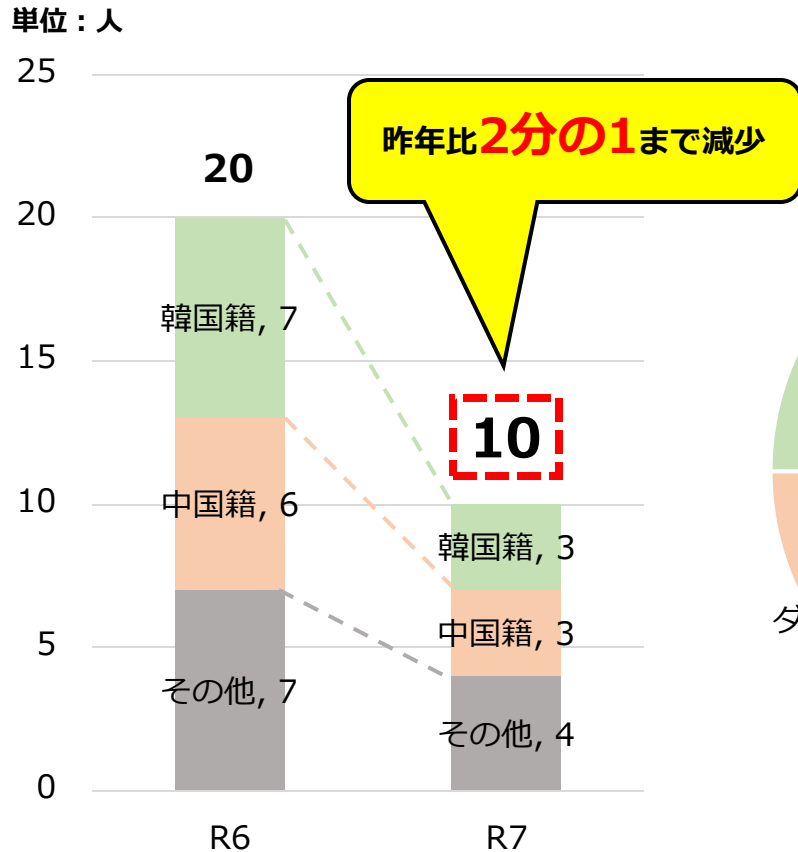
日 時 : 令和7年9月27日午後0時30分頃  
 場 所 : 本部町備瀬崎  
 事 故 者 A : 50代男性 (**死亡**)  
 事 故 者 B : 50代女性 (帰還不能)  
 活動内容 : スノーケリング中 (**ライフジャケット非着用**)



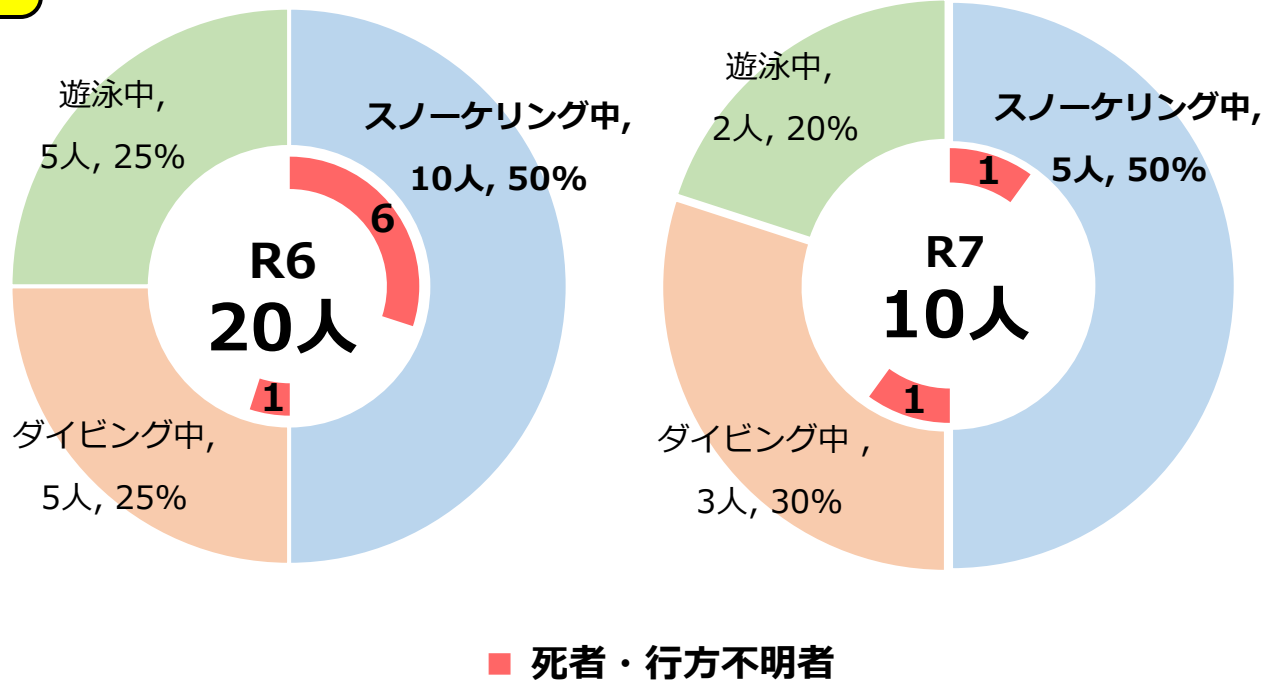
- ①事故者Aと事故者Bは備瀬崎海岸から備瀬崎灯台のある離れ小島までスノーケリングを開始。
- ②スノーケリング中、事故者Bが沖合に流され、事故者Aが救助。
- ③救助後、事故者Aはリーフ上で意識消失したことから、緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。

- ① **外国人観光客**の事故者は10人で**昨年比10人減少**した。  
国籍別で見ると、韓国籍・中国籍・その他の事故者すべてにおいて**減少**した。
- ② 活動内容別に見ると**スノーケリング中**の事故が**最も多く**、次いでダイビング中・遊泳中であった。  
死者・行方不明者は**昨年比5人減少**した。

① マリレジャーに伴う人身事故発生状況 (7/1~10/31)



② 外国人観光客の活動内容別 (7/1~10/31)



● R6の人身事故発生場所

● R7の人身事故発生場所

( ) 内は死者・行方不明者数

### 宮古列島 8人 (4人)



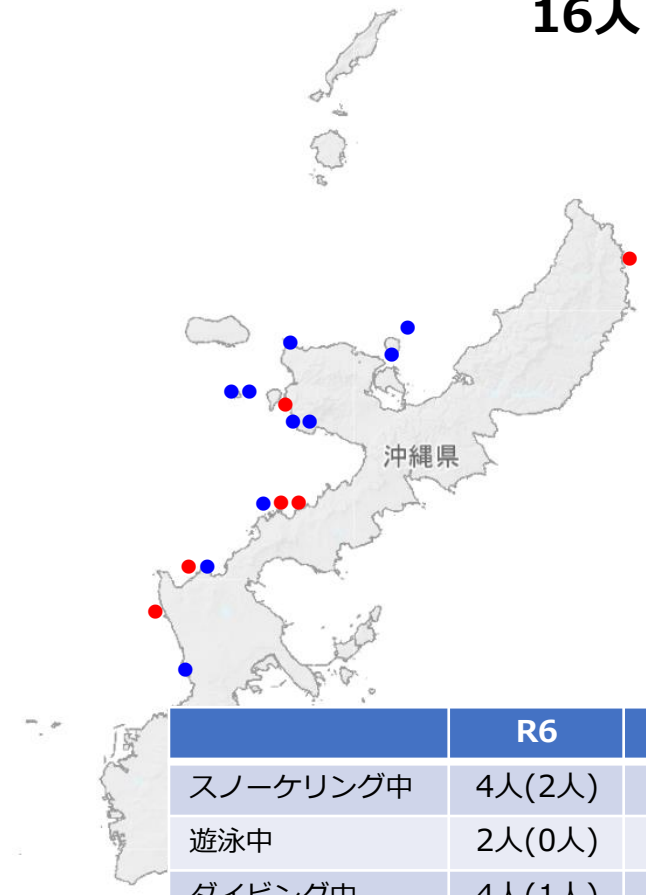
	R6	R7
スノーケリング中	5人(4人)	0人
遊泳中	2人 (0)	1人(0人)

### 八重山列島 4人 (0人)



	R6	R7
スノーケリング中	1人(0人)	0人
遊泳中	1人(0人)	0人
ダイビング中	1人(0人)	1人(0人)

### 沖縄本島 16人 (4人)



	R6	R7
スノーケリング中	4人(2人)	3人(0人)
遊泳中	2人(0人)	1人(0人)
ダイビング中	4人(1人)	2人(1人)

### 久米島

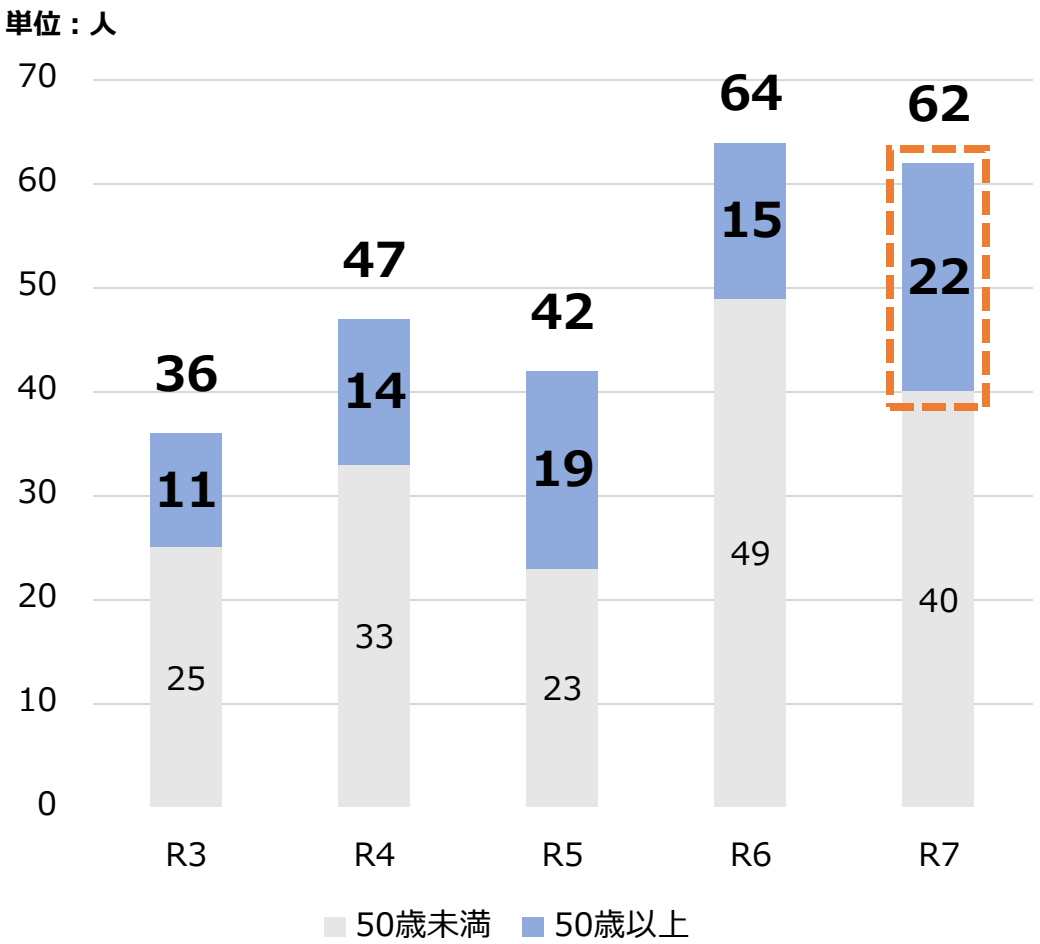
### 慶良間諸島 2人 (1人)



	R6	R7
スノーケリング中	0人	2人(1人)

- ① 令和7年における**50歳以上**の事故者は22人であり、事故者全体の**35%**を占めている。
- ② 活動内容別に見ると**スノーケリング中**の事故が最も多く、全体の**50%**を占めている。

① 5年間に於けるマリレジャーに伴う人身事故発生状況 (7/1~10/31)



② 令和7年における50歳以上の活動内容別 (7/1~10/31)

